



日本共産党市会議員

館田るみ子活動だより

第47号

二〇一二年七月
日本共産党東青地区委員会
青森市中央三丁目二一―十五
TEL 七七七―七二四一
市役所内 TEL 七二二―八九〇四

危険・老朽空き家解消へ 鹿内市長が「空き家条例制定します」と表明

館田るみ子市会議員は、六月議会の一般質問で、競輪事業と空き家対策、後退道路、福祉タクシ―券、国保税問題について市の考えをたずねました。

館田るみ子市議は、放置されて崩れかかっている危険な空き家をなくすために、条例を制定し代執行で撤去する方法を紹介し、市に空き家対策を求めてきました。

通学路に

屋根雪が落下

夏は害虫が大発生

昨年の三月議会では「空き家の屋根雪が通学路に落雪し、猛暑の夏は、アメリカシロヒトリが大発生し、周辺の家の中ま



市会議員十年表彰を受ける館田市議

館田るみ子市議は、日本共産党市議団が四月に視察した「富山県滑川市では、危険空き家の所有者が建物と土地を市に寄附するのであれば市が解体をして市民の安全と安心を守る。更地になった土地は地域住民が雪捨て場や公園などに利用している」と紹介し、地域で防犯・防災上の不安となつて

実態調査については、「雪処理相談として寄せられた約200件の空き家の調査を行い、必要に応じて適切な対応を図ってまいりたい」と答弁がありました。

放置空き家を
増やさない対策を

あすなる学園前バス停の 存続求めて交通部に要請

県道鶴ヶ坂・千刈線の拡幅工事のために、石江のあすなる学園前バス停は移動を余儀なくされます。バス停近くにある青森

第一養護学校、あすなる医療療育センターの教職員や近隣の住民から「バス停がなくなれば困る。存続してほしい」とたくさん



成田部長に署名を手渡す

成田部長は「移設、新設をふくめて検討し、バス停を残したいと考えている。近く県に事前協議を要請することにしている」と存続に努力したいと答えました。

六月二十七日、館田るみ子市議は石江地区代表の中里紘一さん、三内地区代表の河内淑朗さんと

ともに交通部に出向き、成田部長に457人分の署名を提出し、バス停の存続と待合所を風雪を防

年度中の制定を目指して取り組んでいる」と表明がありました。

市民に節電呼び掛けながら 青森市が深夜競輪を導入

六月十三日の総務企画常任委員会で「日没が早い十月や悪天候で暗くなった時に、現在の照明設備では照度が不足なので照明設備を強化したい。その施設を有効活用するために、ミッドナイト競輪の実施を検討している」と報告がありました。

新たなギャンブルはやめるべき

館田るみ子市議は「冬期間の実施は望めない青森競輪が、深夜レースが安全に行えるほどの照明器具を設

今後のありかたについて検討してもらおうとしている前に、大きな予算が必要となる新しい事業に着手するこ

とは問題だ」と厳しく追及しました。また「節電のために街路灯の点灯を一本おきにしたり、市民に節電を呼び掛けながら深夜にレースをおこなうことは、節電に逆行する事業であり、市民の理解を得られるとは思えない。新たなギャンブルは導入すべきでない」と批判しました。

23中核市で 後退道路対策 を実施 青森市は「課題を整理し検討」と回答

ます。

家を建て替えようとした時にこの適用をされ、塀を移動しなければ建築許可が出ないと言われ、塀の撤去、新設に130万円の新たな出費を余儀なくされた人のことを館田るみ子市議は、昨年の十二月議会で紹介し、後退道路用地を買い取り、塀などの移動にかかる費用に対する補助金を出したり、市に譲渡する場合などは、用地の測量、分筆登記などの費用を市が持つて、市の道路として管理している他都市の例をあげて、本市の対応を求めました。

八戸市では後退用地を買い取る。

館田市議は「後退した土地の分まで固定資産税を払わなければならない」と言うのは、言わば、無理やり土地を取り上げておいて、税金を払わせるということになる。あまりにも理不尽な扱いではないか」と指摘し、「先進事例に学んで、固定資産税は払わなくていいようにすべき。後退するためにかかった費用は市が負担する。後退用地を八戸市のように買い取る。後退した用地は、道路として整備するように」と求めました。答弁に立った江崎賢一都市整備部長「狭隘道路の改善に向け

後退道路 一年間に五四件

館田市議は「一年間に後退道路となった軒数と適用をうけた後退道路はどのような扱いとなっているのか」と質問したところ、二十三年度は五十一件あり、青森市では後

道路後退が必要な狭隘道路

退部分を確認し「検査済証」を交付しているだけでした。他都市の調査と検討はどうなっているかとの館田市議の質問に対して、江崎賢一都市整備部長は「中核市四十市を調査したところ、二十三年市が狭隘(きょうがい)道路の改善に向けて何らかの対策を取っている。調査結果を参考にしながら、庁内関係部局と協議し検討していく」と答弁しました。

羽白沢田

待望の側溝改良と道路舗装が始まる。

私名義が一部残っているから側溝の改良も道路舗装もできないと言われていた羽白沢田の生活道路が所有者の協力が得られ、早速、側溝の設置と道路舗装がされました。今回の工事は、まだ一部ですが、写真(左)のようにきれいになり、喜ばれています。



石江地下道の冬期対策と生活環境の改善を求める

生活環境の改善を求める

日本共産党石江後援会は、五月十七日、市の工藤雅史都市整備部長事らに3・2・2内環状線石江工区そばに出来た地下道の冬期対策など六項目にわたる要望書を提出しました。石江地下道は、道路の開通とともに利用されましたが、雪が吹き込んで階段が凍結し、危なくて通れないとの住民の声を伝えたところ、すぐ利用禁止となりました。また、雪解けの季節は、屋根から水が階段に流れ落ちるなど、冬に弱いことが明らかになりました。



3・2・2内環状線の歩道につながる石江地下道

館田るみ子市議は、その都度、対策を求めてきましたが、今回、後援会と共に「今年の冬は、安心して利用できる地下道にしてほしい」と抜本的な改善を求めました。また、近くの人たちが

が自主的にごみを拾い、掃除を続けていたところ、階段に火を燃やした跡があったので階段付近にもカメラを設置してほしいと要望しました。工藤理事は、日頃からの清掃などに対し感謝の言葉を述べた後「石江地下道は県が作ったものなので、カメラの件も含めて県と相談していく。交差点そばの変則交差点の安全対策については、一月に交通診断をおこなったが、七月にもう一度行うことになっていく」と説明がありました。

館田市議は、石江岡部135の通りの側溝の改良と舗装が片側だけに終わっているの、向かい側も引き続き改善を図るようにと申し入れました。

障害者の福祉タクシー券 1回につき2枚の使用を認めてほしい

市は外出困難な重度の障害者の行動範囲の拡大と社会参加のために、タクシーの利用券を年間48枚交付しています。館田市議は「一回につき二枚使えるようにしてほしい」と要望が寄せられて

いるが、障害者の願いに答えるべきではないか」と質問しました。

答弁に立った福井正樹健康福祉部長は「この制度の趣旨はタクシー料金の費用の一部を助成することによって、重度の障害ある方の行動範囲の拡大と社会参加の増進を図るもの。この趣旨から利用にあたっては1回につき1枚としているので、変更は考えていない」という冷たい答弁でした。

館田市議の調査では、福祉タクシー券を発行している自治体のほとんどは複数枚の利用を認めています。館田市議は「新たな予算が必要になるわけでもないのに、なぜ障害者の思いに寄り添って考えることが出来ないのか」と厳しく批判し、考え直すよう指摘しました。